

リコチャレの取り組みについて

2025年2月26日

古河電気工業株式会社
戦略本部 人材・組織開発部

Agenda

1. 古河電工グループについて

会社概要

p4

事業内容

p5-p6

当社グループの価値観

p7-p8

2. リコチャレについて

リコチャレについて

p10

2024年度イベントの様子

p11-p14

参加者の声

p15-p17

今後に向けて

p18

1. 古河電工グループについて

会社概要

商 号	古河電気工業株式会社
社 長	森平 英也
創 業	1884年
設 立	1896年6月25日
資 本 金	69,395百万円（2024年3月末）
売 上 高	1,056,528百万円（連結）（2024年3月期） 296,766百万円（単体）（2024年3月期）
従業員数	52,757名（連結）（2024年3月末） 4,335名（単体）（2024年3月末）
本 社	〒100-8322 東京都千代田区大手町2丁目6番4号（常盤橋タワー）



（参考）役員紹介：<https://www.furukawa.co.jp/company/executive/>

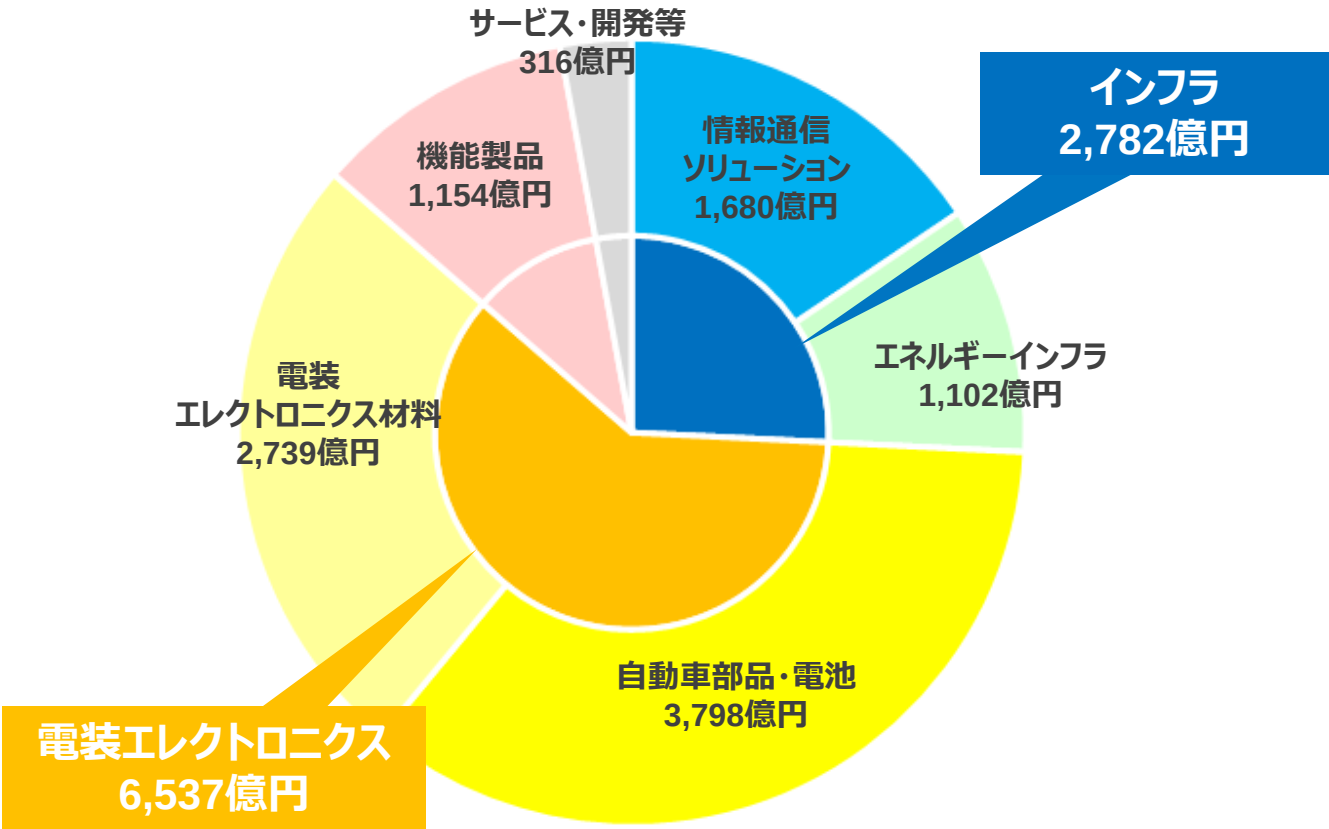
当社は「メタル」「ポリマー」「フォトニクス」「高周波」の4つのコア技術を強みに、インフラ(情報通信ソリューション、エネルギーインフラ)、電装エレクトロニクス(自動車部品・電池、電装エレクトロニクス材料)、機能製品の3つの事業セグメントにおいて、多岐にわたる製品を展開しています。

3つの事業セグメント



2023年度売上高 **10,565**億円 ※

※セグメント別の内部売上高および振替高を相殺消去した数値



国内外に誇る シェアトップクラス製品群



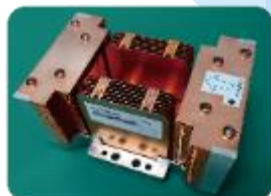
鉄道車両用 アルカリ蓄電池

国内 トップクラス



チップインダクタ用 極細平角線

世界 No.1



ヒートパイプ式 ヒートシンク

世界トップクラス



ステアリング・ロール・コネクタ

世界 No.1



ワイヤハーネス

国内トップクラス



光ファイバ・ケーブル

世界トップクラス



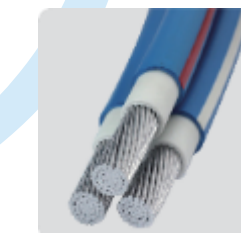
通信用波長可変光源

世界トップクラス



海底用電力ケーブル

国内トップクラス



高機能型低圧アルミ導体
CVケーブル

国内 No.1



回路基板用電解銅箔

世界トップクラスの
伝送損失低減



架橋発泡ポリオレフィン

世界トップクラス



地中埋設用ケーブル保護管
「エフレックス」

国内 No.1



ハードディスクドライブ用
アルミブランク材

世界 No.2

創業者の思い



創業者 古河市兵衛

古河グループの創業者である古河市兵衛は、「日本を明るくしたい」という思いのもと、

従業員を大切にせよ
お客様を大切にせよ
新技術を大切にせよ
そして、
社会に役立つことをせよ

と語っていました。当社は、この言葉をDNAとして大切に紡ぎ、1884年の創業以来邁進してきました。「3つの大切」をしっかりと受け継ぎ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

古河電工グループ 理念体系

古河電工グループ パーパス

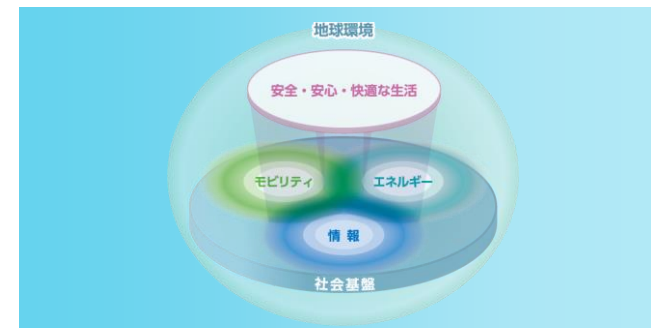


Core Values (コア・バリュー)



古河電工グループ ビジョン2030

古河電工グループは「地球環境を守り」「安全・安心・快適な生活を実現する」ため、情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤を創る。



「古河電工グループ パーパス」を制定しました

「つづく」をつくり、世界を明るくする。

古河電工グループは、創業140周年を迎えることを機に、「古河電工グループ パーパス」を制定しました。

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。
今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。
人と地球の共生が、いつまでも幸せにつづくこと。

よりよい未来へとつながる、そんな「つづく」を、
絶え間ないイノベーションで、つくり、支える。
それが、私たちの存在意義。

さまざまな社会課題に向き合い、
インフラをはじめ、あらゆる領域を超えて挑戦する。
1884年の創業以来、誠実に磨きつづけてきた、
技術力と提案力を強みに。

私たちは今日もつくりだす、未来への「つづく」を。
世界を明るくするために。

従業員一人ひとりが当社グループで働くことに誇りを持ち、当社グループ全体のエンゲージメントの向上につながることを期待して、当社グループの存在意義「パーパス」を制定し、グループ理念体系を見直しました。パーパスの制定にあたっては、次世代を担う若手従業員を中心に「パーパス制定プロジェクトチーム」を立ち上げ、国内外のグループ会社の従業員と対話を重ねてまいりました。

このパーパスには、創業以来磨き続けてきた技術力と提案力を強みとし、様々な社会課題に向き合い挑戦することで、よりよい未来へとつながる「つづく」をつくることが当社グループの存在意義である、との思いを込めています。また、創業者である古河市兵衛の「日本を明るくしたい」という思いを継承しつつ、グローバルに事業を展開していることを鑑みた表現にしています。

※「古河電工グループ パーパス」のページ

<https://www.furukawa.co.jp/purpose/>

2. リコチャレについて

リコチャレについて

- 2022年度より「夏のリコチャレ」企業イベントを実施。（※2022年度はオンライン開催）
- 技術系社員が多い当社では「理工系への進路選択の可能性を広げよう」というリコチャレの趣旨に賛同。
- 「技術開発・ものづくりを通じて働く」面白さを知り、進路の選択肢を増やすきっかけにしてほしい。

2024年度開催概要

場所：古河電工 本社

開催日時：2024年7月30日、7月31日

申込数：中学生18名、高校生9名

保護者18名

当日のプログラム：

- ①会社紹介
- ②本社オフィス見学
- ③技術体感プログラム
- ④女性社員との交流会



The poster for 'RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2024' features a central illustration of five cartoon characters (three girls and two boys) holding tools and a lightbulb, set against a background of large, vibrant sunflowers and green leaves. To the left of the illustration is a photo of a modern building with a blue sky. To the right is a photo of a woman in a blue lab coat using a microscope. Below the illustration, the text 'RIKOCHALLENGE SUMMER OF 2024' is written in red and blue, followed by 'リコチャレ' in large blue characters. At the bottom, it says '内閣府・文部科学省・経団連共催' in small black text.

夏のリコチャレ2024
理工系って実はおもしろい！
古河電工で見て・聞いて・体感しよう！

2024年度イベントの様子 ①会社紹介

会社紹介：創業140年となる古河電工の技術を紹介！

- まずは、古河電工の事業内容や製品・サービスについて知ってもらうため、会社紹介からスタート



- 実は鉄道や自動車、スマートフォンなど生活の身近なあちこちで古河電工の技術が活躍していることを知っていただく



※個人保護の観点で、顔がわかる写真を白塗りしています。

2024年度イベントの様子 ②オフィス見学

オフィス見学ツアー：普段は見ることのできない仕事の現場を見学！

- 2021年7月に移転した新本社は、コンセプト、レイアウト・デザインまで、若手社員を中心としたプロジェクトメンバーが考案。
- 多様性を活かしイノベーションを促進するため、働き方に合わせた様々なエリア、コミュニケーションを活性化する仕掛けを取り入れた。



- 「革新的なオフィスの設計に驚いた」「写真ではなく実際に働いている人を見られて楽しかった」「働きやすそうで魅力的に感じた」などの感想が寄せられた。

2024年度イベントの様子 ③技術体感プログラム

技術体感プログラム：古河電工の技術を実際に見て・触れて体験しよう！

AI技術を子牛の体調モニタリングに活用

従来、酪農家の経験や感覚に頼っていた子牛の体調管理について、データ分析に基づいた予測システムでサポート。
人の目で見分ける難しさや人手不足といった現場の困りごと解決に貢献。



ヒートパイプの放熱技術

熱伝導性の高い銅管の内部を工夫し、より速く熱を逃がす技術。
実際に銅の棒とヒートパイプを手に持ち、温度が変化する速さを比較、体感。



樹脂の発泡技術の開発

断熱材や反射板など用途に応じて発泡の方法を変えている。
照明の反射板には、光を乱反射・分散させてきれいに明るく見せる役割があることを、天井の蛍光灯を例に説明。

※個人保護の観点で、顔がわかる写真を白塗りにしています。
※写真は2023年度実施の時のものです。

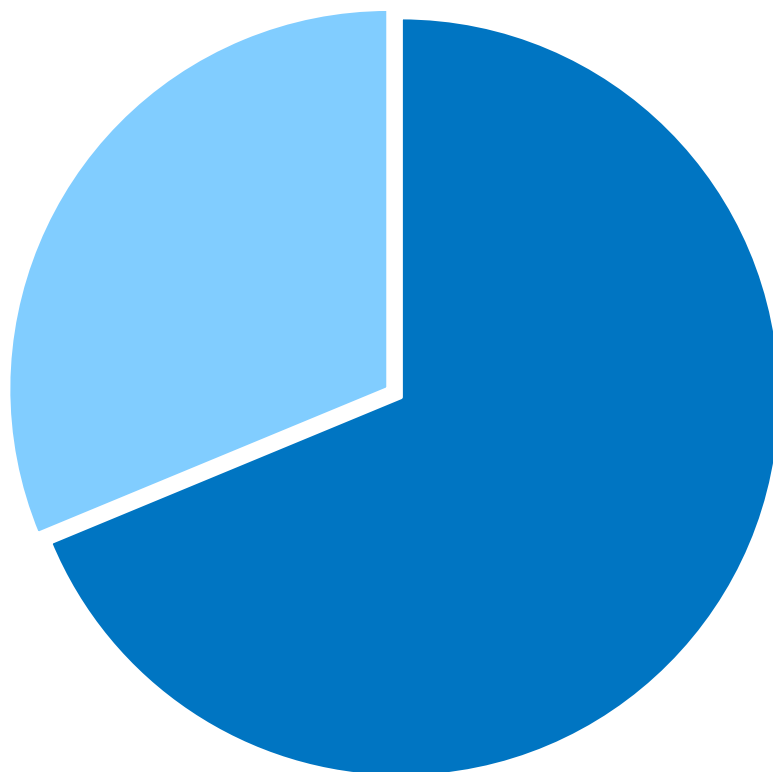
2024年度イベントの様子 ④ 女性社員との交流会

先輩パネルディスカッション：1日のスケジュールは？進路はどうやって決めたの？リアルを聞いてみよう！

「学生時代に好きだった科目、苦手だった科目は？」「理系に進んで良かったこと・大変だったことは？」「英語ができた方が良い？」「会社ではどんな時にやりがいを感じる？」などなど、学生時代から現在に至るまでさまざまな質問に対し、パネリストが一つひとつ、体験談を交えながらお答えした。



当社のイベントをどのように知ったか

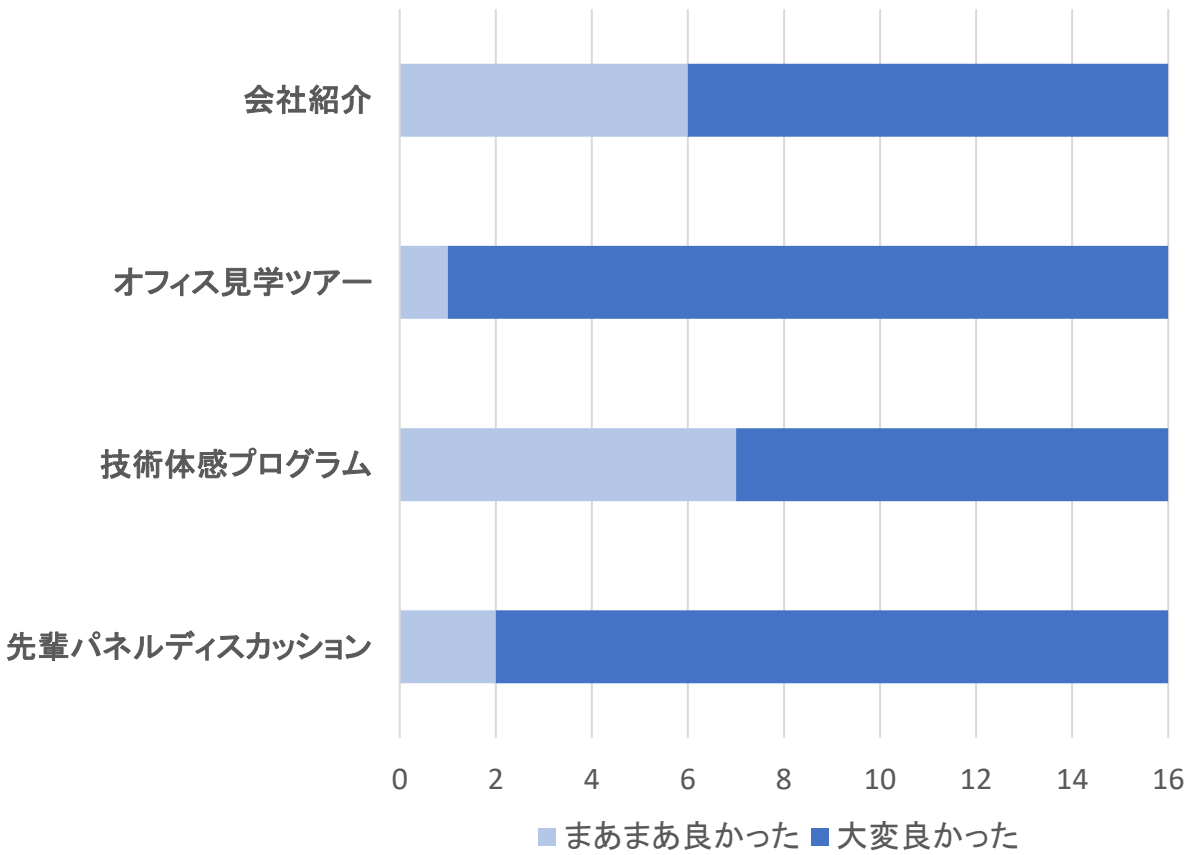


■ 親から聞いた ■ 内閣府のHP

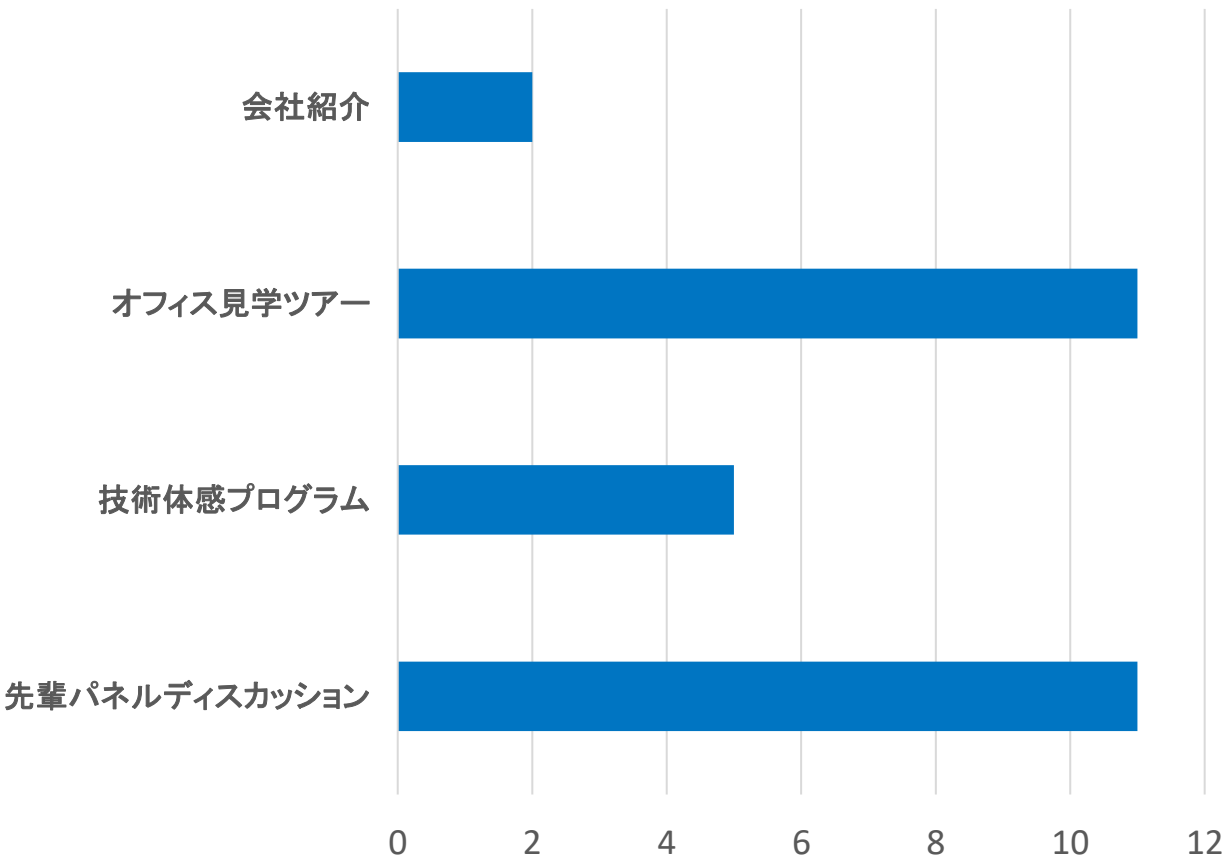
- 当社イベントへの参加者は「保護者」に聞いて知った方が多い
- リコチャレHPを見て知っていただいた方もいらっしゃる

■ 今の自分でも想像しやすい、身近に感じられるプログラムがより満足度が高い

プログラムの満足度



特に印象に残ったプログラム(複数回答)



会社の印象と環境

- 初めて訪れたが、オフィスが意外と綺麗で設備が整っており、楽しい体験だった。
- リラックスできる空間があり、働きやすい雰囲気が魅力的だった。

体験と学び

- 実際のオフィス見学や銅の熱伝導実験が興味深く、具体的な体験ができたことが良かった。
- 理系の女性が活躍している姿を見て、進路選択の参考になった。
- B to B 企業の意味やメーカーの役割について理解が深まった。
- 社会人の生活や仕事の実態を知ることができ、憧れを抱くようになった。

社員との交流

- 先輩社員の実体験やキャリアについての話が非常に参考になった。
- 社員が楽しそうに働いている姿を見て、職場の雰囲気が良かったと感じた。

今後への期待

- もっと「体感」「体験」したかった。
- 「体感」を超える具体的な「体験」プログラムがあると良かった。

■ 2025年度も7月末頃の実施を予定。

■ 楽しんでもらえるようプログラムをアップデート。

規模の維持：募集人員は各回10組×2日程（※実際は各回13～14組）

プログラム内容：わかりやすく、「体感」「体験」できるプログラムが期待されている。



これからも、当社の事業、技術を伝えるとともに、理工系の仕事の面白さ、奥深さを知ってもらい、学生の進路の選択肢を増やすきっかけの場づくりを続けていきます！

ご清聴ありがとうございました
Thank you

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。

